

いろどり 彩

第 31 号 令和 3 年 2 月 19 日 (金)

如月

第 2 学年 学年通信

文責 竹川由紀子

令和 2 年度のしめくくり

年度の終了まで約 1 か月となりました。心身の成長いちじるしい中学校 3 年間の中でも、とりわけ中学校 2 年生の 1 年間はその変化が大きい時期です。生徒たちは、部活動や生徒会活動など学校生活でも中心となって活動する場面が多く、さまざまな立場を経験することを通して自分や集団の成長を感じることが多くあったのではないのでしょうか。

緊急事態宣言下で始まった年度当初の生活から 1 年間。子どもから大人まで誰もが今までにない生活様式を経験しました。幸いにも 5 月の学校再開から学校生活を送ることができ、運動会や文化祭などの学校行事も形態を変えて実施することができました。保護者の方の入校や行事への制限があり、実際の学びの場面の参観をいただけず残念な思いをおかけしました。ご家庭でも、仕事やご家族の状況など変化の多い年となったことと思います。新型コロナウイルス感染症の対策の一つであるワクチン開発や接種が進み、状況が少しずつ改善されることを願いながら落ち着いた生活を過ごしていきたいものです。

社会の状況は、日々変化していきます。周りのことに気を配りつつも、自分の進むべき方向は見失わないよう、目標を定めて歩き続けることを忘れないようにしましょう。

新研究の取り組みを考える

11 月末から進路学習教材「新研究」を使った学習に取り組んでいます。基本的な取り組み方として、家庭での学習教材として活用するように伝えていますが、登校後に学校で丸付けをしている生徒の様子を見かけることもあります。毎月の計画表に従って、



中学校の学習を振り返り提出日には全員提出をめざしています。残念ながら、開始以後まだ 1 日も達成することができていません。指定された範囲の学習をきちんと取り組むことを基本として、予習や復習に取り組むための教材としても活用してほしいと思います。

(積雪に係る下校の様子について)

2 月 18 日〔木〕は積雪量が多く、放課後の部活動を停止して 16 時下校となりました。JR の遅延があったり復旧までの待機時間が長かったりと帰宅が遅れた生徒があり、保護者の方にはご心配をおかけしたと思います。下校時は雪の影響で通常時と異なる状況下にありましたが、JR 運行状況のアナウンスや誘導の指示にしっかりと耳を傾け、判断して行動する生徒が多かったように思います。学校や駅まで迎えにかけつけていただいたご家庭もあります。急遽の対応、ありがとうございました。